

第 16 回全日本民医連学術・運動交流集会参加！ in 石川県 参加報告

報告者：理学療法士 大淵 裕

○全日本民医連学術・運動交流集会とは？

私たちは全日本民医連という組織に所属しています。その組織で開かれる学会です。特徴は学術だけではなく、運動にも焦点をあてていること。運動というのは JB や社会保障活動等の活動を指します。なので、職種も幅広く事務～医師までが参加しているというのが特徴です。2年に1回全国大会が開催されます。

○今回の報告：

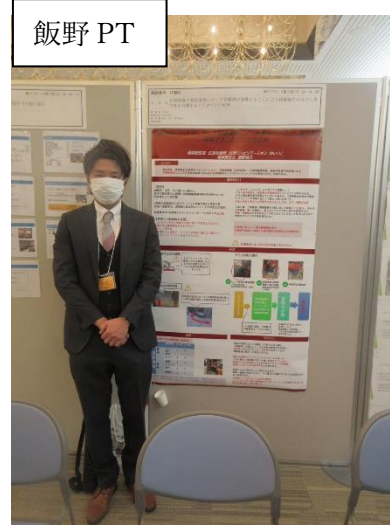
・演題発表！

リハ部からは大淵 PT、大関 OT、飯野 PT が発表しました！！

演題名：大淵 PT 回復期病棟 2 度目のコロナクラスター対応～感染対策と活動量確保の取り組み
～スタッフアンケートと FIM から見えた成果～

大関 OT ひもときシートでの提案を振り返ることで見えてきた課題

飯野 PT 脊髄損傷の利用者様に対して多職種が連携することにより移乗動作が自立し農作業を再開することができた症例



とても良かったのは記念講演！

上野千鶴子先生

『最期まで住み慣れた地域で 多職種協働が支える在宅生活』

○ポイント【史上最悪の介護保険改悪】

※詳しくは YouTube 参照。

<https://youtu.be/s-7b8TvEPV0?feature=shared>

【家にいたい高齢者の悲願】

そのために、介護サービスは必須！

自分や子供や大切な人が高齢者になった時、安心して住み続けられるようにしたい。

上記を参考にしながら自分自身も患者さんの自己決定支援をしたいと感じました！！

参加した飯野 PT、大関 OT の感想は以下です。

【大関 OT】

第 16 回全日本民医連学術・運動交流集会に参加してみても

オープニング企画の演奏、開会の言葉で歓迎ムードが伝わり緊張が解けました。記念講演では上野千鶴子氏の話術や知識の多さ、わかりやすさに魅了されました。自国の憲法や制度に関して、とくに若い世代が知識と誠意を持って向き合わなきゃいけないと思いました。

分科会では地域は違えど医療関係者が抱えるものはどこでも変わらないと思えたこと、色々な視点がある中で同じ温度で他職種の方々と話が出来たことが学運交の良さであると思いました。

テーマ別セッションでは LGBTQ や SOGI の意味を学ぶ事が出来ました。組織の在り方について考えさせられました。2日間通して、たくさんの気づきや学びがありました。参加してよかったです。

【飯野 PT】

第 16 回 全国学術・運動交流集会に参加しての感想

今回、出張という形で民医連の第 16 回全国学術・運動交流集会に参加させて頂きました。自分自身もポスター発表を行い、他の法人の方から質疑やアドバイスを頂くことができました。

対面での学会は数年ぶりの参加だったのですが緊張しながらも自分の意見を発信することができる喜びを非常に感じました。

更に今回は記念講演として、上野千鶴子先生の「最期まで住み慣れた地域で:多職種協働が支える在宅生活」を聞かせて頂きました。

私が現在働いている訪問リハビリテーションの現場と非常に密接した内容となっていてとても勉強になりました。

今回参加させて頂いたおかげで他の都道府県と同職種・他職種の診療技術や熱意に触れることができました。この経験を糧に今後の業務に活かしていきたいと考えております。

次回は 2 年後！！次回も楽しみです。金沢はとっても良い街でした！！



学会で出たお弁当！



金沢城